

平成29年度滝沢市子ども・子育て会議 議事録

- 1 開催日時 平成30年1月30日(火) 14:00～15:20
- 2 開催場所 滝沢市役所2階大会議室
- 3 出席者 (委員)
藤原理佐委員、居館倫絵委員、菊地美佳委員、高橋正俊委員、山口淑子委員、
小山尚元委員、菅野啄也委員、米澤由可里委員、中田真理子委員、工藤純世委員、
内藤陽委員、大塚健樹委員、工藤美希子委員、角替三記委員、太田厚子委員
(市側出席者)
健康福祉部長 小川亨
児童福祉課長 佐藤勝之
児童福祉課総括主査 村田方洋
〃 総括主査 佐々木澄子
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 事
(1) 滝沢市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直し(案)について【諮問】
(2) 滝沢市の保育の現状について
(3) その他

会議経過

1. 開 会

事務局：ご案内の時刻となりましたので、これより、滝沢市子ども・子育て会議を開会致します。

本日の会議の開催にあたりまして、小川健康福祉部長よりご挨拶を申し上げます。

2. 部長挨拶

部 長：皆さんこんにちは。今年度から太田部長の後を継ぎまして健康福祉部長でございます。この1年間お会いした方もたくさんおりますけれども、中には初めての方もいらっしゃいます。どうか今日はよろしく願いいたします。それでは子ども・子育て会議の開催に先立ち、一言ご挨拶申し上げます。

この会議は、滝沢市の「子ども・子育て支援事業計画」の策定に際し、皆様のご意見を伺うとともに、子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項等を調査審議いただく機関でございます。本市では、平成27年3月に「滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定しましたが、国の基本方針により、中間年である平成29年度を目途に、市内の需給関係等動向を踏まえながら必要に応じて見直しをしていくこととされております。このことから今回は、平成30年度と平成31年度の量の見込みや確保策につきまして、ご審議をいただきたいと思っております。現在市では、来年度予算の編成をすすめているわけですが、国の施策としては、待機児童の解消はもとより、教育の無償化など一層の拡充に向かっているというところでございます。市におきましても、子育て支援の新たな状況に対応した事業の再構築や見直しが必要となつてまいるものと考えております。本日はどうか、委員の方々の専門的な見地からのご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

3. 事務局紹介

事務局：それでは事務局の出席職員の紹介をいたします。

～事務局紹介～

4. 会議の成立

事務局：会議の成立になりますが、本日の出席委員は、過半数を超えていますので会議が成立することを報告いたします。尚、会議は公開となっておりますので、会議の終了後、ホームページで議事録等を掲載させていただきますので、ご了承をお願いいたします。ここで、資料の確認をさせていただきます。事前にお配りした資料はお持ちいただけましたでしょうか。あと、事業計画書のほうはお持ちいただけましたでしょうか。

それでは、次第に移りまして、早速議事に入らせていただきます。大塚会長よろしく願いいたします。

5. 議事録署名人の指名

会長：それでは、次第の3、本日の会議の議事録署名人を指名させていただきたいと思います。名簿順に米澤委員と中田委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

～了承～

では、よろしく願いいたします。

6. 議 題

会長：それでは次第に沿って議題に入ります。議題の（1）滝沢市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直し（案）についてを議題といたしたいと思います。これは、市のほうから子ども・子育て会議へ諮問を受けて行われる内容となっております。事務局からご説明をよろしく願いします。

～ 事務局説明 議題（1）について、資料1・2に基づき説明 ～

会長：どうもありがとうございました。ただいま事務局から見直しについて説明がありましたが、なにかご質問、ご意見がありましたらよろしく願いします。

委員：私は学童保育の立場から、放課後児童クラブの事業についてご審議いただきたいと思ってきております。保育園や幼稚園が優先課題なのかとは思いますが、放課後児童クラブについても子供達が毎日利用している場所であり、就労している親御さんたちにとって役に立ってはいるのかなとは思いますが、今回の見直し案で見込値を修正していただいているのはありがたいことなのですが、今回見込値が利用定員数になっているというのは、本来学童の定員数は40人規模が適正と言われていて、現状は書かれているように地域性が強く出ていて、柳沢で12人位、滝二小学区で30人位、40人切っている。鶉飼小、滝小学区では80～90人規模になっていて、冬休みには100人を超えていたり、4月の時点で入りきれなくて、待機児童も発生している状況にもなっています。私は父母会運営の所に属しているので、他の法人さんなどの状況がよくわからなかったのですが、鶉飼小学区では、うかいっこさん、撫子さん、室小路さんの三つの学童が毎年人数調整をしないと入らない、それでも定員がパンパンで、90人近い状況で、その子供たちが一つの建物で生活している状況で、果たして子供達の安全安心な過ごし方ができていないのでは。今回滝沢中央小学校ができ

る、定員数が80人増えて、848人を見込んでいるようですが、そもそも80人定員でとらえてしまうと、どうしても本来のあるべき形から大きく外れているのではないのでしょうか。片や少なく余裕のある学校と、片やパンパンで入りきらない学校とで、放課後児童クラブ事業として頭割りで割り算すると、平均すると50～60人弱位で収まるのですが、より詳しく単体をみていくと、保育園幼稚園さんの学区とかで見ると、すごくオーバーをしているところができます。そこを含めて計画をたててしまうと、学童としての在り方に問題がでてくるのではないかと心配しています。どうしても自分たちでできることも限られていて、児童福祉課さんに助けてもらいながら相談しながらやっていますが、市の予算で不可能なのは分かっているんですが、毎日を過ごしている子供達がそういう生活を前提としたものでいいのかっていうと、そこは健全育成としては問題があるのではないかと思います。子育て会議が滝沢市の考えるところの子育てに大きい影響を与えるというそういう会議だと私は思っていますので、ぜひ委員の皆様にもご意見をいただいて、もう少し厳しい思いをしている学童に対して何か手立てはないものか、例えば長期休みだけでも、空き教室の利用して、長期利用の子を預かるとか、情報収集をして使ってもいいよという家を何年かだけ利用するとか、放課後の子供達のことをこの会議で考えていただければと学童としてお話をさせていただきました。

会 長：事務局お願いします。

事務局：学童の適正規模というお話は、委員がおっしゃる通り40人規模が適正ということになっています。こちらの計画につきましては、総量として学童保育を必要としている児童は何人か、それに対する確保の人数ということで計画書のほうは総数として記載してございます。おっしゃるように地域性があるって、少ない学童と多い学童があります。学童というのは学区の中の児童数を預かる形となりますので、その児童数につきましては、大きな話になると学区の再編も含めましての検討ということになるのですが、それは教育委員会の所管ということでたぶんこれからの検討に入って行くような流れになっていくのかなと。新設の滝沢中央小学校の定員は80人定員といいましたが、40人クラスの2単位として予定しておりました。40人の支援単位のを二つで建物としては同じという形です。議題の次第の4の(2)でまたお話しがあらうかと思いますが、適正規模の学童をこれから作っていくという流れになろうかと思われます。中央小学校区に新設学童ができて、滝沢小学校区につきましては、他の3つの学童については、適正規模になっていこうと、ただ鶴飼小学校区については、少し様子をみながら別途判断していかないと大規模解消につながるかつながらないか、実際の入所児童数の推移をみながら、判断していきたいと思っています。いずれ適正規模に近づけるような形への努力はしていきたいと思っております。

会 長：ということで、適正規模に近づけていきたいという考え方を持っているとのですが、いかがでしょうか。

委 員：その2支援というのは、あらかじめ決まったものでしょうか。運営単位も2つ増えるということでしょうか。

事務局：公募を考えておまして、一つの運営者の方にその2単位を運営していただくという形です。当初は70人規模ということで施設計画を立てておりましたが、学区の見直しがありまして、中央小学校の学区が大きくなりましたので、若干規模を大きくしまして、80人規模の建物ということで予定してございます。

会 長：よろしいでしょうか。他にございませんか。

委 員：先ほどの説明の中で何点が質問したいと思います。今回の見直しにあたって推計児童数ですか、

支給認定割合の出し方等説明いただきましたが、実績値の部分で増減の要因をどのように分析されているのか、またその結果が見直しの考え方に反映されているのかというところが1点目です。2点目は現状の各保育園については、現状を上回る子どもさんをお預かりしているわけですが、今回の見直しにあたっては、定員をベースにして確保の方策をたてているようですが、現状の各保育施設の定員を上回る形で受け入れをどのように捉えていて、今後どのように推移するのか、そういったことが今回の見直しに反映されているものかどうか、そのあたりをお聞きしたいです。

会 長：事務局よろしいでしょうか。

事務局：資料2ページの実績値と量の見込みの把握と見直しの要否のところですが、ここが10%以上あるかどうかで見直しが必要かどうかという判断になるわけですが、1号の実績について、我々としての要因分析になりますが、3歳～5歳ということで幼稚園も保育園もどちらも選択肢がある中で、保育園の希望をいただいております、なかなか保育園に入れない、いわゆる待機の状態のお子さんが幼稚園さんやこども園の1号として入所しており、保育園に入れたら入りたいなというようなお子さん方も相当数いると思われまして。そういったことが実績値として反映されているものと思われまして。また、2号についても、実際に保育園・こども園に通っているお子さんたちの人数となっておりますが、保育園さんの方で定員を上回って受け入れていただいているところですが、3号につきましては、見込みよりも少ないというところにつきましては、実際に育児休業がきれると同時に保育園の入所の申し込みをいただいておりますが、なかなかそのタイミングで入れないというお母さんも相当数いらっしゃると思います。そういったときに育児休業を延長して入れるときまで延ばしていただいております。また労働基準法のほうも伸びた分だけ、育児休業手当金の給付期間も延ばすといった法改正もありますので、そのような形で在宅でみている方も多くいらっしゃると思います。ということで見込みよりも実績値が少なかったのかなというふうに思っております。

事務局：補足になりますけれども、当初の計画策定値の量の見込みの出し方というのは、国から示されたアンケート調査をしまして、その回答に基づく係数をかけたものが当初の計画見込となっております。おっしゃるとおり実績値が大きくなっておりますが、後程資料3の待機児童の解消に向けた取り組みについての中でもお話し差し上げますが、女性の就業率の上昇と言うのがやはり一番大きいのかなと、働くお母さん達が増えてきているのが一つ、あとは、滝沢の特殊な地域的な事情もあるのですが、開発団地が多いという事で保育の需要は増える傾向にあるだろう。ただ、滝沢でも子供の数自体は少子化ということで減ってきております。就学前児童数も減ってますので、なかなかニーズというか保育の需要を見込むのが難しい面もあるのですが、現在のこの計画の見直しの中では実績に合わせて女性の就業率があがるだろうという係数をかけて出させていただいております。あと、定員を超えて受け入れていただいている分には、計画についてはあくまでも定員ということで計画をしております。ただ、実際に超えた分の定員の弾力的運用をしていただきながら、実際は待機児童の解消をお願いしているものもありませんが、計画上はあくまでも施設の定員ということで計画しております。

会 長：ということですが、いかがでしょうか。

委 員：まあ、そういうことなのだろうと思っておりますけれども、一方で保育士が不足しているという実態があります。各保育施設さんが状況にもよるかとは思いますが、定員を上回って受け入れることがいつまでできるのだろうか懸念されます。計画は定員ベースでしょうけれども、やむをえないのかもしれませんが、各保育施設の様々な運営状況ですとか、負担ですとか、待機児童が解消されればいいのですが、各施設がそういった形でやりくりできる間はいいかもかもしれませんが、見直し

として大丈夫か不安がありますので、少しお伺いしたいと思います。

会長：保育士不足については私からご説明させていただきます。2, 3年前から待機児童の話が広まって、その中で保育士の養成とか、成り手とか、潜在保育士とかいろいろ保育士を増やすことが論議されてきましたが、現状養成校として感じているのは、18歳人口が減る割合に比べて保育士を目指す学生が減ってきています。要因としては、世の中景気がよくなってきたというところもありますが、保育士さんの待遇が良くなっていますけれども、働き方の見直しとも言われておりますが、マイナスに働いているところもあるのかな、と。具体的に言うと、親御さん方が子供達を養成校みたいなどころに行かせたくないというところもでてきているのかなと。そんなところを私が学校を訪問して、学校の先生方からよく言われるところです。あとは単純な話で、子供の数が減っているのに、何で保育士が減ってるのとその辺の兼ね合いを現場というか親御さん方のところでわかってないというのが。我々もなんとか保育士を養成して人数を増やしたいと思っているところですので、いろんな機会をつかまえて、なんとか学生を増やしていきたいなと思うと同時に、ぜひ皆さんにもご協力いただきまして、保育士の待遇もよくなっていますし、少子化対策も含めまして必要な分野ですので、ぜひいい職場ですので、明るい職場ですので、広めていただければなというお願いが入りますが、よろしくお願いいいたします。

委員：実際にはあんまり東京とか関東のほうとかあまり行ってないですか？

会長：そうですね、地元に残っています。地元からよこしていただければ、できるだけ地元に残したい、そういう気持ちでやっておりますのでよろしくお願いいいたします。なかなか難しい問題ですね。

会長：他にございませんでしょうか。

会長：では、議題（1）につきましては、ご承認いただけたということですのでよろしいでしょうか。

～全員承認～

会長：それでは、次に進めさせていただきます。議題の（2）滝沢市の保育の現状について、事務局からご説明をお願い致します。

～事務局説明 議題（2）について、資料3に基づき説明～

会長：ご説明ありがとうございます。資料3に基づきまして説明いただきましたが、何かご意見があればよろしくお願いいいたします。

～ 特になし ～

会長：よろしいでしょうか。では、議題（2）については以上といたしまして、次に進めさせていただきます。議題（3）ですけれども、事務局から説明をお願い致します。

～ 事務局説明 議題（3）について、資料4に基づき説明～

会長：ありがとうございます。この資料4について、何かご意見がございましたらお願い致します。

委員：今回運営団体を公募するようですが、今回父母会運営にしなかったのは何かありますか。

事務局：すでに他の学童さんでは、法人さんとかNPO法人さんとかでやっているところもあります。父母会運営の状況といますか、運営される方も大変だという声もお聞きしておりますので、父母会運営にこだわらず、民間でやりたいという方がいれば手を挙げていただく。また、父母会とかでもやりたいという方がもしいらっしゃれば手を挙げていただくというところで、こだわらず募集したいということで考えております。

会 長：よろしいですか。他にどうでしょうか。

事務局：あと、先ほどの件にちょっと付け加えて、建てる場所ですけれども、中央小学校の敷地の一部を分割して建てる予定になっております。場所的には団地側の端のほうということで考えております。

会 長：どこか手を挙げそうな見通しとかはあるのでしょうか。

事務局：民間さんからは何件か問い合わせをいただいております。

会 長：他にございませんか。資料5についてはどうしますか。

事務局：国のほうの概算要求の状況についての資料をつけておりますので、これはあとでご覧いただければと思います。

会 長：他によろしいでしょうか。

～ 特になし ～

会 長：それでは、議題3につきましては終わりましたので、進行のほうを事務局にお返ししたいと思います。

事務局：大塚会長、ありがとうございます。委員の皆様からも貴重なご意見をいただきまして、大変ありがとうございます。それでは、次第の5、その他でございます。事務局のほうから説明させていただきます。

事務局：今回お集まりいただきました委員の皆様のご任期につきましては、平成30年3月31日までとなっております。4月からの委員さんの改選に向けてこれから進めさせていただきたいと思っております。また、団体さん等にまた推薦のお願いをする場合もありますし、公募という形をとらせていただくこともありますので、引き続きご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

事務局：公募委員の藤原さんと居館さんをお願いしております。前は再任ということでしたが、今回につきましては、また公募という形をとらせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

その他ということで、藤原委員さんが「こそだておはなし会」ということで活動をなさっておりますので、その活動の内容報告をお話しいただければと思います。

藤原委員：藤原と申します。今回任期が3月までとお聞きしておりましたし、「こそだておはなし会」市内の各施設にいろいろ置かせてもらってご協力をいただいておりますので、直接お会いしてご挨拶もできないと思っておりましたので、この場をお借りして配布とご挨拶をさせていただきました。

子育て会議の委員に公募しましたのも、自分自身が子育てで悩みながらやってきたわけですがけれども、今小学生に二人ともなりました、少し大変だった時期を越したかなと思っておりますが、ただ、その子供達とつながりを持つ中で、母親の不安というのは子どもも持っていて、さらに子どもの姿に家庭の不安というのが出てくるんだなと思っております。こちらの会議でも子どもの育ちについていろいろ皆さん、専門の先生方の口から聞いたりすると、何かしたいなとか、自分なりに考えて

子育て会議の委員である間に、責任感を感じまして、こういった活動につなげてやっておりました。皆さんとそういったお話をいろいろできればよかったのですが、この場を借りてこのパンフレットをご覧いただき、何かのこういったつながりがあるといいなと思っております。

来年も助成金を申請しまして、もし結果がよければ引き続き行いたいなと思っておりますので、できる範囲で何かしら社会でサポートする仕組みになればと思っておりますので、何かしらお声かけいただければ幸いです。今後ともよろしく願いいたします。

小山委員：私ども滝沢市保育協会も後援させていただいておりますので、鶺鴒保育園を中心にスタートして、今はビックルーフなどでやっております。参加したお母さん方からは大変反響はいいです。皆様もご紹介いただければと思います。

事務局：ありがとうございました。その他皆様から何かございますか。何でも結構です。

それではないようですので、その他についても終了させていただきます。これもちまして本日の会議を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

議事録署名委員

議事録署名委員